

2022年総合生活改善 第7回中央戦術委員会 ＜確認事項＞

1. 全体の解決状況

☆ 自動車総連全体の解決目標としていた4月末以降も中小単組を中心に粘り強い交渉を重ねてきた結果、6月13日時点で集計対象1,043単組の90.6%にあたる945単組で妥結又は妥結方向となった。

1) 月例賃金

- 個別賃金については629単組が要求し、現時点で138単組が回答を引き出している。
- 平均賃金については、賃金カーブ維持分と賃金改善分を合わせた引き上げ額全体の平均は4,830円。賃金改善分の獲得割合は65.5%、平均獲得額は1,501円となっている。人数規模別で見ると、299人以下の中小単組の賃金改善分獲得額が大手を上回るなど、中小単組の奮闘ぶりが数字にも表れている。
- 職場課題や賃金課題について、労使がこれまで以上に真摯な論議を行えたことや中長期的に目指すべき賃金水準の共有等、「絶対額を重視した取り組み」の前進感を得た単組も多く見られ、全体として取り組みが着実に進展しているものと受け止める。

		解決単組数		賃金改善分 獲得単組数		平均回答額 〔カーブ維持分+改善分〕		平均回答額 〔賃金改善分〕	
全体		945	1043	619	(446)	4,830円	(4,334円)	1,501円	(1,279円)
		90.6%	(93.7%)						
業 種 別	メーカー	13	13	10	(4)	6,575円	(6,740円)	1,550円	(1,000円)
	車体・部品	370	376	232	(137)	4,462円	(4,233円)	978円	(851円)
	販売	471	550	324	(268)	5,138円	(4,486円)	1,884円	(1,551円)
	輸送	25	28	16	(10)	3,607円	(2,189円)	787円	(680円)
	一般	66	76	37	(27)	4,954円	(4,178円)	1,707円	(999円)
規 模 別	3000人～	33	33	26	(9)	6,183円	(6,018円)	1,361円	(789円)
	1000～2999人	72	73	50	(20)	5,340円	(4,913円)	1,144円	(815円)
	500～999人	120	123	82	(61)	4,943円	(4,676円)	1,178円	(1,026円)
	300～499人	119	129	89	(45)	4,761円	(4,434円)	1,269円	(1,086円)
	～299人	601	685	372	(311)	4,706円	(4,150円)	1,682円	(1,398円)

()は前年同時期の数字

2) 年間一時金

- 年間協定による回答を引き出した817単組における年間回答月数の平均は4.38ヵ月となっている(前年同時期4.30ヵ月)。その内、275単組が5ヵ月以上を獲得しているとともに、前年と月数比較可能な単組の内、653単組が前年以上の回答を獲得している。

3) 働き方の改善

- ・自動車産業の変革期やコロナ禍による変化を踏まえ、多くの単組において、各職場の課題解決や生産性向上、そして新たな時代の働き方に向けた積極的な議論が行われ、組合員の働きがいの向上や企業の体質強化などに繋げることができている。

4) 企業内最低賃金

- ・現時点では13単組で新規締結、8単組で対象者拡大、289単組で締結水準の引き上げに至っている。締結額の平均は166,341円となっている（前年同時期163,054円）。

5) 非正規雇用で働く仲間

- ・本年、何らかの形で非正規労働者の処遇改善に取り組んでいる単組は463単組となっており、その内171単組において、時給や日給の有額での賃上げや、一般組合員に連動した一時金の獲得などの進展が見られている。

2. 今後の進め方

- ☆ 今次取り組みの解決状況については、現時点では90.6%（前年93.7%）と、昨年同時期と比較して若干下回る解決状況となっている。
- ☆ 現時点で未解決の単組については、各労連の個別サポートのもと、要求を満たし得る最大限の回答引き出しに向け、最後の追い上げを図るとともに速やかな解決を目指す。
- ☆ 自動車総連としても、引き続き各労連・単組のサポートを着実に実行すべく、一体となって取り組んでいくこととする。その上で、今後は中央執行委員会にて最後まで取り組みをフォローしていくことを前提に、本日をもって中央戦術委員会による交渉体制を解除することを、ここに確認する。

以 上